



2025年 9月 Vol.15



認知症の豆知識 『認知症と感情の関係』

認知症になると記憶障害が生じることがありますが、一方で感情は長く心に残ることが多いと言われています。できごとそのものは思い出せなくても、「うれしかった」「安心した」という気持ちは残ります。また、「不安になった」「怖かった」「悲しかった」というマイナスの感情も残ります。

ただでさえ自身の変化に戸惑っている認知症のあるご本人に、さらに周りの人が怒ったりイライラした態度で接すると、認知症の症状も進みやすくなります。

穏やかな環境で過ごすほどご本人も感情が落ち着き、症状の進行も緩やかになります。

互いにプラスの感情が残るように、配慮して接することが大切です。



推進員 コラム

世界の認知症ケア ～オランダ ホグウェイ村～



日本と同じように、世界の先進国でも高齢化は進んでいます。

他の国ではどのように認知症の方が過ごしているのか気になって、少し調べてみました。

オランダのホグウェイ村は、認知症のある方専用の「街」として設計されているそうです。

住民は外出したり、買い物や趣味を楽しんでいます。医療ではなく、施設ではなく、日常の継続を大切にして、より地域社会に近い形で生活しています。

職員は介護職であることを伏せて街に溶け込んで、住民の生活を自然に支援しています。

認知機能低下により起こる症状を自然に補える“環境”をつくっていることがこの街の特徴だそうです。



トピックス 『認知症サポーターステップアップ講座』



認知症カフェ「からきだ匠カフェ」で、認知症サポーターステップアップ講座が開催されました。

認知症への理解を深めるため、認知症のある方の話を聞いたり、グループになって、「自分たちのできることは何だろうか」と考えたり、意見交換をしたり。

受講後、カフェの運営や、会話のフォローをするなど、具体的な活動をしている方もおり、オレンジパートナーとして、地域での活躍が始まっています。



※オレンジパートナーとは、上記の講座を受講した方で、認知症のある人やその家族と共に活動する方（登録制）

TAMA 認知症介護者「いこいの会」

病ゆえに、当事者と歩む道は24時間365日続きます。迷い道に入り込んで、どうにもならない気持ちになってしまうこともあります。

悩みを話しても、黙って耳を傾けて聞いているだけでも…。時には、思い出話や季節の話題などで盛り上がることもあり、楽しいですよ。

- ▶毎月第1火曜日13:30～
聖蹟桜ヶ丘ヴィータコミュニネ7階
ワークショップルーム
- ▶毎月第3金曜日13:30～
ベルブ永山5階消費生活センター 科学室ほか
【連絡先】 080-3526-9979

まちのもの忘れ相談室 「みらいの会」(当事者会)

外に出るきっかけになる場所です。
自由に話せる場所です。

認知症と診断されて、この先どうなっていくのだろう…と、不安が先行している方、ひとりで悩まずに、気軽にお立ち寄りください。

仲間と一緒に楽しいことを探しましょう。

- ▶毎月第3日曜日13:30～
聖蹟桜ヶ丘ヴィータコミュニネ
7階 活動交流室

【連絡先】 080-3526-9979

あなたのまちの高齢者の相談窓口

「認知症地域支援推進員」もいます！

お住まいの地域	地域包括支援センター	電話番号／住所
東寺方（3丁目を除く）・落川・百草・和田（3丁目を除く）・桜ヶ丘・関戸6丁目・貝取（地番）	西部	☎ 042-389-8850 和田1532
連光寺・聖ヶ丘・馬引沢・諏訪	東部	☎ 042-373-7850 諏訪5-1 諏訪複合教育施設内
落合・鶴牧・南野2～3丁目・唐木田・中沢・山王下	多摩センター	☎ 042-376-2941 山王下1-18-2
永山2～7丁目・貝取2～5丁目・豊ヶ丘2～6丁目・南野1丁目	中部	☎ 042-375-0017 永山4-2-5-105
関戸1～5丁目・一ノ宮	北部	☎ 042-357-3711 関戸4-19-5 多摩市立健康センター3階
愛宕・東寺方3丁目・和田3丁目・乞田・永山1丁目・貝取1丁目・豊ヶ丘1丁目	北部 愛宕支所	☎ 042-319-6411 愛宕1-1-2-106 愛宕第一住宅